

2018 年度事業報告書

認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター

ご挨拶

ここ数年、社会参加を促進する視点から、働くことに踏み出したい若者や生きがいを持って働きたい高齢者の就労、女性の起業などの課題に着目して当団体は取り組んできました。社会参加をどのように捉えるかによりますが、広くは趣味の活動やスポーツ活動など、余暇活動とされてきたものに参加することなども含まれます。それとは異なる仕事・就労や起業を通じて社会に参加することに意義があると考え、力を入れてきました。といっても、私たちの取り組みは労働市場に直接介入するわけではなく、動き出したいと考える人々を雇用や起業につなげ、継続できるための支援やその後の相談に位置付けられるでしょう。



理事長 牧里 每治

公共的なあるいは準公共的な社会参加の代表といえば、地縁組織での自治活動や相互扶助の活動、そして自然環境保全や外国籍住民などへのボランティア活動などが頭に浮かびますが、無償の活動でなくても社会に貢献できる社会参加の途もあると信じて宝塚 NPO センターは事業展開してきました。当団体が重点的に取り組んできた事業は、特定非営利活動法人制度にいう 20 の不特定かつ多数のもの利益に寄与する目的のうち、『まちづくりの推進を図る活動』と『職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動』の二つが該当するでしょう。この二つの目的を融合させたような事業、あるいはこの二つの目的の延長線上にある活動の充実に心がけてきたともいえます。

NPO は多様な構成員によって成り立つという特性をもっています。企業あるいは行政という組織とも違い、会員や無償のボランティアと有給・有償のスタッフとが混じり合って事業活動をしている非営利組織です。つまり、NPO は多様な人材を活かす組織、職場であるとともに、多様な働き方や生き方を柔軟に受け入れることができる団体であるともいえます。働き方改革の観点からいえば、ワークシェアリングもワーク・ライフ・バランスも可能にでき、フルタイム雇用からパートタイム就労、さらにホームワーク、ダブルワークなど請負型就業も実現できる場なのです。創立し 20 年を経た当団体が率先して、ダイバーシティな組織、職場をめざしこれからの時代を生き抜く組織になっていきたいと考えています。

宝塚 NPO センターが作りたい

5つのこと

1

協働の場づくり

- ①市民活動促進支援事業
- ②ひょうごアドブ推進業務
- ③きずなの家事業

P4-P9

2

人と組織づくり

- ①生きがいごとサポートセンター事業
- ②ソーシャルビジネス創業支援事業

P10-P11

つなぐ たがやす ほりおこす

数字であらわす
2018年度の活動

運営相談

1,186 件

起業相談

469 件

就労相談

2,712 件

3

仕事を通じた 社会参加づくり

- ① 職場体験付
若者就労支援事業
- ② 若年者就労サポート事業
- ③ 地域若者サポート
ステーション事業
- ④ 就労準備支援事業及び
自立相談支援事業(就労支
援)

P12-P17

4

地域づくり

伊丹市立市民まちづくり
プラザ指定管理業務

P18

5

市民ネットワーク づくり

ネットワーク事業

P19-P21

市民活動及び市民活動団体の自立・発展・市民事業の円滑な運営の
ためのさまざまな支援を行うことによって、
だれもが安全に安心してらせる市民社会の実現に寄与します。

起 業

29 団体

雇用創出

448 人

ボランティア数

74 人

講 座

266 講座



市民の力が
まちを支え まちをつくる

1 協働の場づくり

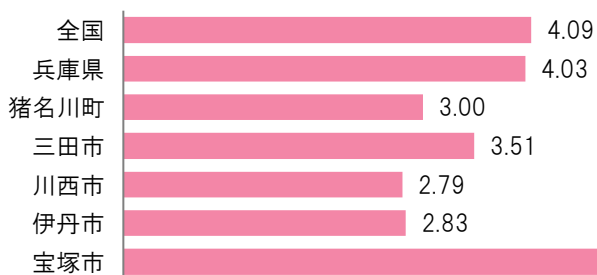
市民活動促進支援事業(宝塚市)

今後何らかのボランティア活動に参加したいと考える人 49.7%

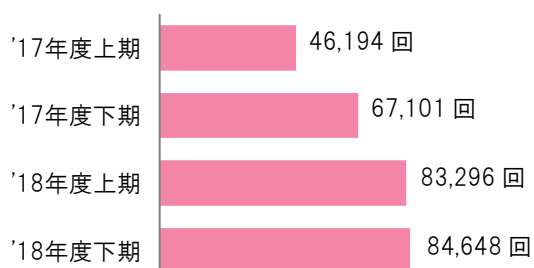
(宝塚市市民アンケート)

宝塚市内のNPO法人数は2018年度末で116団体、人口1万人あたりの法人数は兵庫県や全国を上回り、市民の課題意識の高さを表わしています。また、宝塚市に20あるまちづくり協議会では防災・福祉・環境など、市民自らがまちの多様な課題に取り組んでいます。一方で、後継者の不在を理由に解散するNPO法人も。まちづくり協議会でも10年先を見据えた次の担い手の発掘が課題となっています。

しかしながら、宝塚市が2016年度に実施した『市民意識に関するアンケート調査結果(平成28年度)』によれば、回答者の半数が何らかのボランティア活動を行いたいと考えていることが分かります。潜在的に活動をしたいと考える人がいる中で、いかにその思いをすくい上げ、参加につなげ、持続したまちづくりにつなげていくかが求められています。



人口1万人あたりの法人数(単位:団体)



まちづくり協議会ポータルサイトページ閲覧回数

まちに眠っている力が芽吹くために

NPO法人設立

5 団体

CB起業者数

12 団体・人

総相談件数

544 件

19 団体から NPO 法人化相談を受け、5 団体が設立されました。ホームホスピスを開設する団体には地域のコミュニティを紹介、受け入れてもらえたと報告をいただきました。2018 年度は改正 NPO 法の施行があり、定款の変更が必要となるため相談が多く続きました。

コミュニティ・ビジネス(CB)の起業では、子育てママへのカウンセリングや居場所づくり、ハンドメイドの技能を活かした起業など、多くの女性の起業を支援しました。西谷では古民家を活用したサードプレイス、都市部では生産緑地を活用した体験農園など、地域ごとの課題を解決する相談が続きました。

まちづくり協議会ポータルサイトの運営では、まちづくり協議会ブログの運営相談を通じて情報発信を支援。まちづくり協議会のイベント取材した『お出かけまちキョン』を作成、まちづくり協議会を身近に感じてもらえるよう発信しました。



効果的な情報発信や自立した団体運営のための講座を開催



NPO 法人宝塚つ・むぐの家の皆さん一軒家を借りホームホスピスを開設



まちづくり協議会キャラクター『まちキョン』が地域にお出かけして魅力を発信



市民力で支える

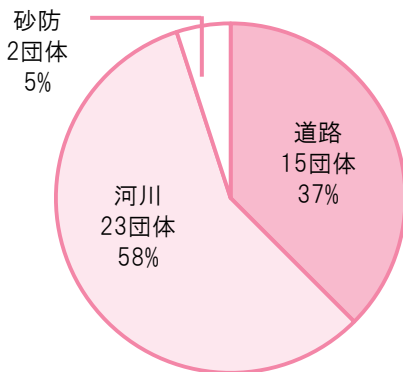
環境保全

1 協働の場づくり

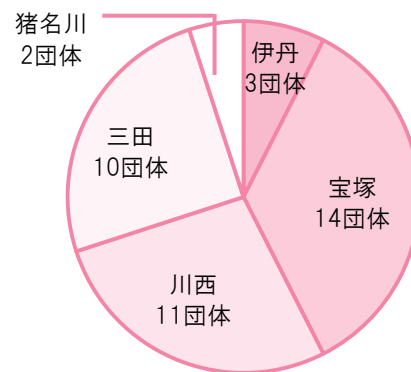
ひょうごアドプト推進業務(兵庫県)

阪神北地域アドプト活動参加人口割合 0.19%

阪神北地域におけるアドプト活動参加者の人口割合は 0.19%です。この数字は 5 年前と比べてもほぼ同じ割合となっています。このことはアドプト活動を始めてからそのままの活動人数で推移しているということです。阪神北地域での活動は、三田市や川西市などの地域では自治会レベルでの活動が多く、コミュニティの活動と位置づけられています。しかしその他の地域では、河川や里山の整備清掃活動は災害から地域を守る活動として行われていることが多くなっています。地域自治組織が形づくられつつある阪神北地域において、アドプト活動が単に清掃活動にとどまらず、地域のつながりや自治意識醸成につながる活動であることを示していくことが必要です。



団体数と活動区域割合



阪神北地域市町別活動団体数

地域で、環境への関心を高めていくために

アドプト活動者数

1,432 人

アドプト活動団体数

40 団体

毎年開催している『アドプトをもっとよくなる会議』を 1 月末に 2018 年度も開催しました。活動団体同士のネットワークを拡げ、協働することが目的です。参加者からは他の団体の活動状況や活動人数・年齢などの共通のテーマで話したり意見をもらったりしながら、今後の活動について活発で前向きな意見が多く出されました。「共通のテーマで話ができることが有意義であった、1 年に 1 回ではなく何度か開催してほしい」「アドプト活動団体間の情報交換や協働の仕組みづくりを推進してほしい」「来年度も必ず開催してほしい」などの意見をいただき終了しました。この会議の中で「近隣住民の方々がこの活動に少し関心を持ってくださっている」という団体からの意見があり、広報誌を発行していることなどが団体が活動する区域住民の方々への広報と啓発活動になっているという効果を上げてきています。




1 月に開催された『アドプトをもっとよくなる会議』



刈払機講習会



白瀬川園路で石の階段作り



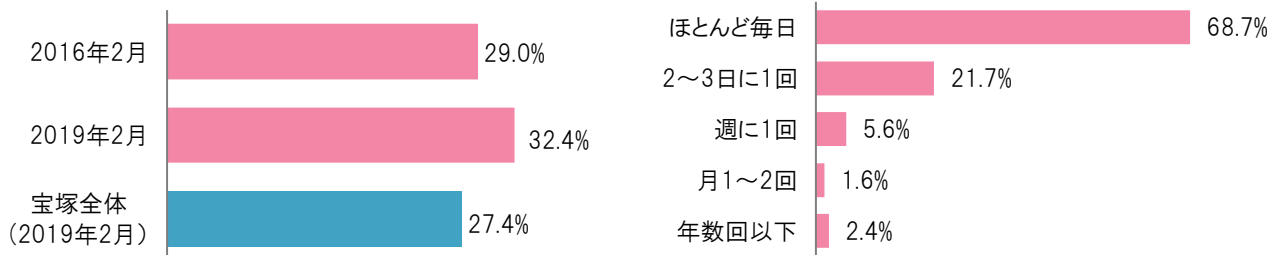
ドアを開ければ、誰かがいる
～きずなの家 KaRuTa～

1 協働の場づくり

きずなの家事業(宝塚市)

周辺地域の高齢化率 32.4%。みんなが集える場、活躍できる場を

『きずなの家 KaRuTa』がある宝塚市栄町は観光客が多く、賑わいがあるまち。一方、駅近のマンションの高齢化率は徐々に進み、今では32.4%(2019年2月末)に上ります。宝塚市全体の高齢化率が27.4%であることから、少し高めの割合です。駅が近く平坦な地形のため、坂の多いニュータウンから移り住んでくる高齢世帯が多いのもこの地域の特徴です。これまでの住み慣れたコミュニティから転居されてきた方には、商業地域であるこの地域には気軽に集える場が少ないのが現状です。



栄町の高齢化率(65歳以上の方の割合)
(宝塚市「町丁・字別年齢(5歳階級)別人口」)

55歳以上の方の外出の頻度(内閣府平成29年度調査)

くつろぐ つながる 学ぶ

カフェ利用者数

3,572人

イベント参加者数

467人

市民ボランティア

のべ414人

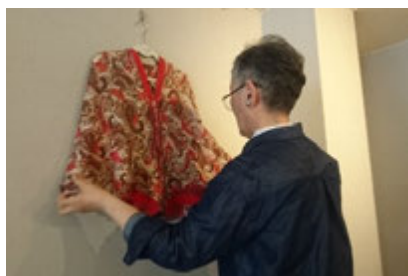
KaRuTa はお茶と軽食を提供して『くつろぐ』、おしゃべりで『つながる』、イベントで『学ぶ』を通じて、どのような年代の方でもどこに住んでいても、ここに来れば誰かと出迎え、話せる場です。

2018年度は今後の運営の継続のため、また地域の一人暮らしの方が休みの日にも来ることができる場所があるようにと、試行的に日曜や祝日もオープンしました。地域の皆さんはもちろん、遠方から歌劇に来られる方の中にも「落ち着くから」と言いつつも寄ってくださる方がいらっしやいます。

KaRuTa の運営には多くのボランティアさんが関わってくださっています。楽しみに来てくださる利用者との会話やふれあいがボランティアさんのやりがいになり、ご自宅の庭で咲いた花をKaRuTa に飾るなど、KaRuTa が居心地の良い居場所になるように様々な工夫をしてくださっています。



花のみち入口すぐのところにある
KaRuTa



壁には市民の皆さんの
アート作品を展示



毎回、キャンセル待ちの
大人気イベント『うたごえ喫茶』

必要だと思ふモノ・コトの
担い手を生み出したい

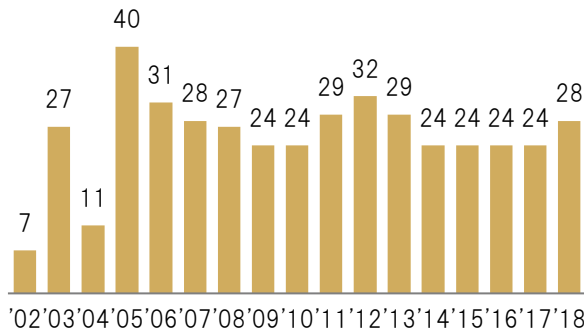
2人と組織づくり

生きがいごとサポートセンター事業(兵庫県) ソーシャルビジネス創業支援事業(宝塚市)

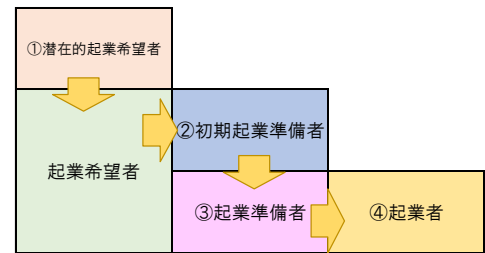
起業に関心があるが起業をしていない潜在的起業家は 19.2%

(「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(三菱UFJリサーチ 2013年))

この数字を男女比で見ると、男性 24%、女性 14.6%。年代では、若者 26.2%、壮年層 20.4%、シニア層 10.9% となっています。決して多い数字とは言えません。私たちが勧めているコミュニティビジネスは、利益を追求することを第一に考えるのではなく、身の回りの地域課題をビジネスの手法で解決につなげることを目的にしたものです。そのため、リスクがある起業ばかりでなく、『小さな起業』も立派な起業であることを伝え、下記の図にある起業のステップに寄り添いアイデアを形にするお手伝いをする場があることを広く伝えていきたいと考えています。



設立団体数の推移



起業のステップ

地域や社会の課題に気づいた人とともに

起業団体	就職成立者数	相談者数
28 団体	343 人	1,113 人

生きがいごとサポートセンター阪神北事業では、285人の新規求職者に登録いただき、343人が就業しました。また、会計や実務に関わる講座や起業に関する講座を30回開催し起業希望の

方や起業された方をサポートしました。2018年度、特に力を入れたのは、女性の起業家支援です。例年実施の『女性起業支援セミナー』に加え、既に起業したものの、もう一段ステップアップしたい女性向けのセミナーを実施しました。起業団体は28団体。子ども食堂に関わる法人、自宅で最期の時を迎えるまで普段と同じような日々を送れるホームホスピスを運営する法人など、社会や地域の課題に取り組む団体が設立されました。一方、個人事業主として起業する女性が多かったのも2018年度の特徴でした。

宝塚市から受託したソーシャルビジネス創業支援事業では、専門的分野の講師陣による連続講座に加え、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスを始めたい方と既にスタートしている方の出会いの場として総勢51人が参加した『ソーシャルビジネス賀詞交歓会』を実施しました。この場は多くの出会いを生み、新規事業を生み出すきっかけづくりになりました。また、『社会をよくするビジネス＝ソーシャルビジネス』と漠然としたイメージを持つ方に向けて、すでに実践されている現場に足を運び体感していただくバスツアーを企画。兵庫県 NPO 法人ピアサポートひまわりの家を訪ね、地域を巻き込んだ福祉の取り組みを学び、立ち上げた方々の熱い気持ちを感じました。



賀詞交歓会



NPO法人の認証を受けた「もくもく」

就労プログラムで
学ぶこと・得ることは
学校では教えてくれない



3 仕事を通じた社会参加づくり

職場体験付若者就労支援事業(宝塚市) 若年者就労サポート事業(伊丹市)

若年層の完全失業率 3.4% (平成 30 年統計局・労働力調査)

2018 年の若年層(ここでは 15~34 歳)の完全失業率は 3.4%であり、日本全体の失業率 2.4%に比べ、高水準を維持しているのが現状です。また、総務省が 2017 年に実施した調査では、就業希望の若年無業者が求職活動をしていない理由として、病気・けがや勉強中の者を除くと、「知識・能力に自信がない」、「探したが見つからなかった」、「希望する仕事がありそうにない」といった回答が見られ、個人によって就労に対して抱えている悩みや課題は様々であることがうかがえます。そんな中、一人ひとりに見合った多様で適切な進路を発見し、継続就労が可能となるようきめ細やかな就労支援を行うことが求められています。

ステップを踏んで就労へー職場体験付若者就労支援事業(宝塚市)

講座開催回数

18 回

受講者総数

213 人

就職決定率

66.6 %

就労に課題を抱える若者に対して、約半年間のプログラムを通じて段階的な支援を行っています。自己分析やコミュニケーション理解、応募書類作成などの講座に加え、事務作業や調理実

習、ソリオ宝塚ふれあい夏祭り出店などの体験講座も実施。働くイメージ、就労意欲を育てながら、一人ひとりに適切な進路選択をサポートし、受講者の 6 割以上の 10 人が新たな進路へと進むことができました。

不安と向き合い、自分に気がつくー若年者就労サポート事業(伊丹市)

講座開催回数

16 回

就職決定者数

18 人

合同就職面接会
来場者数

51 人

自分に自信がない、コミュニケーションが苦手などの不安を抱えた若者が『いたみ就勝塾』に前期・後期合わせて 35 人参加。8 日間の体系的な講座を通して、就職活動にあたっての基本的な知識

を学びました。また、同じ不安を抱える仲間との関わりの中で半数の 51%にあたる 18 人の方が就職決定されました。本事業の一環である合同就職面接会を 1 月に開催。伊丹市内の 11 の企業が参加。51 人の求職者が参加し、9 人が勤務を開始されました。



調理実習の買い出し



夏祭り出店で就労体験



合同就職面接会

「働きたい」を応援

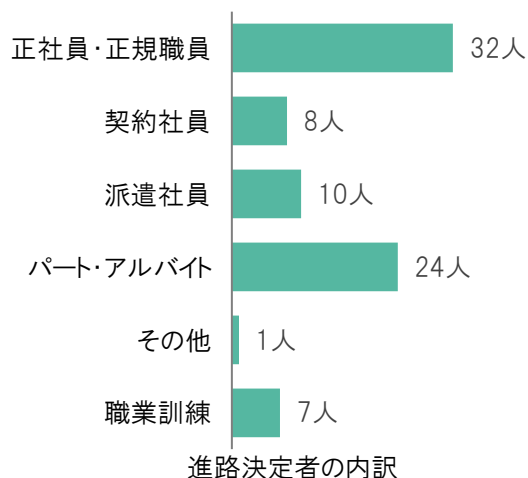
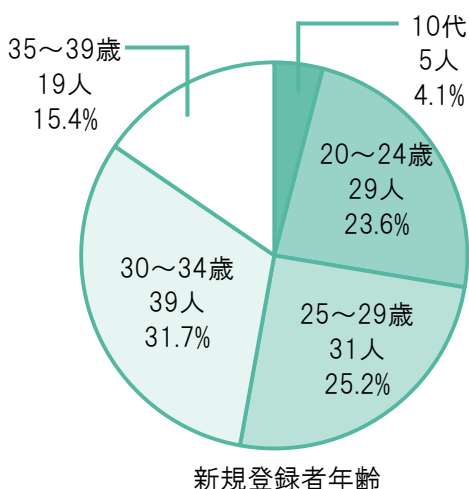


3 仕事を通じた社会参加づくり

地域若者サポートステーション事業(厚生労働省)

若年無業者は 71 万人 (2018 年版 内閣府子供・若者白書)

若者の数そのものが減っているにもかかわらず、15～39 歳の若年無業者の数は、2017 年で 71 万人であり、15～39 歳人口に占める割合は 2.1%。加えて就職氷河期に学校を卒業・退学した無業者の滞留が顕著で、これらの者を含む 40 代前半までの無業者数の推計は 100 万人にも達しています。これら若年無業者等の就労を支援することは、若者の自立の可能性を広げるだけでなく、将来生活保護等に陥るリスクを未然に防止し、経済的に自立させ、地域社会の産業の担い手を育てるために重要な施策です。未来ある若者が充実した職業生活を送り、地域社会の将来を支える人材となるよう、地方公共団体と協働し、職業的自立に向けた就労支援を実施することが本事業の目的です。



地域社会全体が応援団！

新規登録者数

123 人

就職決定者数

75 人

講座開催回数

156 回

2013 年度から本事業を受託し 6 年が経ちました。2018 年度は、相談件数のべ 2,385 件、講座等参加者数のべ 529 人と多くの若者がサポステを利用し、就労に向けての活動に取り組みました。これまでに関係性を築いてきた企業や団体への職場体験や工場見学、担当の方にお越しいただき会社説明会や職業講話の開催など、生の現場を知る機会も多く取り入れられました。

また、ソリオ宝塚ふれあい夏祭りに使用する金券を、自治会の方々と若者が共に作成する機会もあり、世代を越えて地域の方々と協力し合えるという良い経験もできました。

一人でも多くの若者が新たな進路を発見でき、職業的自立ができるよう地域社会全体で見守り、応援する人、企業、団体が今後も増えるよう働きかけていきたいと思ひます。



コープこうべでの職場体験



リアルな情報が聞ける会社説明会



市民の方との協同作業も
就労トレーニング

はたらくを応援 少しずつ成長を



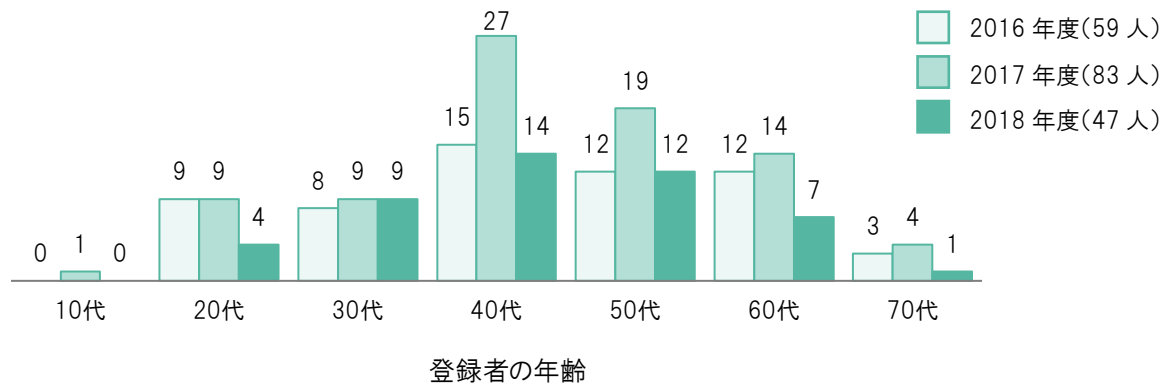
3 仕事を通じた社会参加づくり

就労準備支援事業及び自立相談支援事業(就労支援)(宝塚市)

非正規雇用の割合は 37.9% (総務省 労働力調査(2018年))

日本では、1990年代のバブル崩壊、2008年のリーマンショックなどにより、経済は大きく後退。安定した雇用は揺らぎ、非正規雇用の増加によって所得は低下。これらにより、経済的な困窮状態に陥る人々が増加しました。同時に少子高齢化や単身世帯、ひとり親世帯などの増加による世帯構造が変化。家族や職場、地域社会でのつながりが希薄になる中で社会的孤立がさらに深刻化。貧困の世代間連鎖といった課題もより顕著に見られるようになりました。

このような状況のなか、貧困やその連鎖を防ぎ、自立を促すことを目的に 2015年 年から『はたらく応援センター』が開所しました。仕事を通じた社会参加ができるようサポートしていきます。



一人ひとりに寄り添って

就職決定・
増収者数

56人

相談件数

620件

講座開催回数

59回

『はたらく応援センター』の開所から4年が経ち、多くの方の『はたらく』に寄り添ってきました。2018年度は620件の相談があり、56の方が就職決定や増収をされました。就職・増収率で見れば、2017年度よりも34%増加し、少しずつ成果を伸ばしています。2019年度はさらに事業所や企業とのつながりを大切に、ワークシェアリングなどの多様な働き方を実現できるよう努めたいと思います。

また、講座は59回開催し、のべ118人の方々が参加しました。講座の参加を通し、長く空白があった方が就職につながり、人が持つ力と成長を感じることができた一年でした。ひきつづき、悩みを抱えた方、そして、まだ窓口につながっていない方もサポートできるよう、支援体制の拡充を目指します。



ヨガで緊張や不安をリラックス



働くためにパソコンスキルを身につける



畑作業を通して作物と一緒に成長



世代を超えた『笑顔』が、 『縁と絆』に

4 地域づくり

市民まちづくりプラザ指定管理業務(伊丹市)

はじめの一步

団体・個人の
新規登録件数

21 件

講座開催回数

38 回

講座受講者数

279 人

2018年度は、新たに21の団体・個人に登録を
していただきました。新しく登録された市民活動
の間は、これからの活動を自分で切り開く新た
な『はじめの一步』を踏み出したばかりで、これか

ら様々な市民活動のステップを経験されることと思います。そんな彼らの背中をこれからもそつと後押しする『まちプラ』
であり続けるために、今後とも市民に寄り添って一步一步着実な活動を続けていきます。

その一環として、2018年度は講座開催数38回で279人が参加。NPO法人向けのメニュー(会計、広報など)はもち
ろん、市民活動や社会貢献に興味をお持ちの市民に対して『はじめの一步』につながる『市民みんなが先生徒講座』や
『まちプラ市民活動交流会』も大変好評をいただき、今後も市民活動に役立つ講座を企画推進していきます。



活動団体の代表と参加者との交流会



仲間作りをテーマにした先生徒講座



悩みの聴き方をテーマにした先生徒講座



SDGs 誰一人 取り残さない 社会を目指して

5 市民ネットワークづくり

SDGs

2030年の未来って？ ゲームをしながら考えてみる

11月18日(日)にワークショップ『SDGsってなんだろう？～ちょっとだけ真剣にカードゲームで2030年の未来を考えてみよう！～』を開催しました。『SDGs』とは『Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)』の略で、国連で策定された2016年から2030年までの国際目標のこと。社会人や元インターンの学生と一緒に企画し、開催しました。当日は小学生以下のお子さんからシニアの方まで27人が参加。楽しみながら、普段の生活が他の人や未来の世代、地球規模の問題につながっているということに気付いてもらいました。

3月20日(土)には総合計画市民ワークショップ『タカラボ』有志チーム主催で『SDGs de 地方創生ゲーム WORK SHOP』が開催され、SDGsの視点を身近なまちづくりに取り入れていく機会となりました。



カードゲームで大いに盛り上がりました



『貧困をなくそう』『つくる責任 つかう責任』など、SDGsの世界を変えるための17の目標



企画運営に関わってくださったボランティアの社会人や元インターンの学生

地域の一員として 共に歩みまちをつくっていく

5 市民ネットワークづくり

地域との関わり

事務局を通じた地域参加とまちづくり

宝塚 NPO センターが所属するソリオ宝塚自治会の事務局を担って 12 年目。地域の夏まつりの事務局も担当し、栄町会館の管理にも引き続き関わっています。地域との関係を大切にしながら、住みやすいまちを作っていけるよう努めています。これからも良い関係を築くよう取り組みながら、地域の一員として活動を続けていきます。

地域との連携によるボランティア活動

宝塚地域若者サポートステーションを利用する若者たちが、就労トレーニングとして様々なボランティア活動に参加しました。ソリオ宝塚ふれあい夏まつり『わくわくカプセル』。たからんまつり『かえっこバザール』。宝塚ハーフマラソン大会での豚汁炊き出し。また宝塚市きずなの家 KaRuTa で開催された『セラドン陶器特別販売会』で接客販売を体験しました。



夏まつりの金券作成では、地域の方と動き出したい若者をつなぎ、一緒に作成しました



『かえっこバザール』、好天に恵まれちびっこたちで大いに賑わいました



『セラドン陶器特別販売会』会場の開店前風景と、お客さまでにぎわう店内の様子

5 市民ネットワークづくり

▼生きるを伝える写真展



きずなの家 KaRuTa を会場として、乳がんや脱毛症などの病気で髪の毛を失った女性たちの写真展『生きるを伝える写真展』を開催。

▼アクティブ・ブック・ダイアログ®



毎回、最後の対話で盛り上がった、皆で1冊の本を読む『アクティブ・ブック・ダイアログ®(ABD)』。

▼ホワイトボードミーティング®



県政 150 周年記念県民連携事業助成をうけ、3 回連続で『ホワイトボードミーティング®』の研修会を開催。

▼インターン



宝塚 NPO センターの事務所で神戸学院大学のインターンの学生たちが仕事を体験。

▼豪雨水害の募金実施



7 月に起こった豪雨水害の募金を実施。
13,738 円が集まり、認定 NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワーク、ワカモノチカラプロジェクトの 2 団体に寄付。

2018年度特定非営利活動に係る事業会計

貸借対照表 簡易版

2019年3月31日現在

(単位:円)

借方		決算額		貸方		決算額	
資産 の 部	I.流動資産			I.流動負債			
	現金・預金			預り金	1,503,350		
	現金	241,165					
	現金2	142,350					
	小口現金	13,532					
	郵便貯金	3,202,049		負債			
	普通預金	20,660,470		会費前受金	58,000		
	(現金・貯金合計)		24,259,566	仮受委託金	111,064		
	その他の資産			未払金	5,638,430		
	未収入金	11,047,495		未払法人税等	82,000		
前払費用	917,675		未払消費税等	1,099,500			
(小計)		11,965,170	正味財産				
(流動資産合計)		36,224,736	負債合計		8,492,344		
II.固定資産			正味財産の部				
敷金	1,500,000		前期繰越正味財産額	28,535,692			
差入保証金	100,000		当期正味財産増加額	943,140			
電話加入権	76,440	1,676,440	正味財産合計	29,478,832	29,478,832		
III.繰延資産							
長期前払費用	70,000	70,000					
資産合計		37,971,176	負債及び正味財産合計		37,971,176		

2018年度特定非営利活動に係る事業会計

活動計算書 簡易版

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:円)

科目	当初予算	決算額
I 経常収益		
1. 受取会費	1,300,000	1,011,000
2. 受取寄付金	400,000	875,465
3. 受取助成金等	10,675,000	10,755,000
4. 事業収益	1,910,000	2,883,241
5. 受託収益	55,333,896	57,425,232
6. その他収益	52,000	96,708
経常収益計	69,670,896	73,046,646
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	44,968,735	46,443,463
(2) その他経費	20,490,961	21,588,147
事業費計	65,459,696	68,031,610
2. 管理費		
(1) 人件費	500,000	432,235
(2) その他経費	3,025,000	3,557,661
管理費計	3,525,000	3,989,896
経常費用計	68,984,696	72,021,506
III 経常外収益		
1 雑収益	0	0
経常外収益計	0	0
IV 経常外費用		
1 雑損失	0	0
経常外費用計	0	0
税引前当期正味財産増減額	686,200	1,025,140
法人税等	82,000	82,000
当期正味財産増減額	604,200	943,140
前期繰越正味財産額	28,535,692	28,535,692
当期正味財産合計	29,139,892	29,478,832

2019年度特定非営利活動に係る事業会計

活動予算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当初予算
I 経常収益	
1. 受取会費	
正会員受取会費	1,000,000
賛助会員受取会費	300,000
2. 受取寄付金	500,000
3. 受取助成金等	10,855,000
4. 事業収益	2,050,000
5. 受託収益	52,646,696
6. その他収益	50,000
経常収益計	67,401,696
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	44,455,647
(2) その他経費	19,985,613
事業費計	64,441,260
2. 管理費	
(1) 人件費	569,000
(2) その他経費	3,002,000
管理費計	3,571,000
経常費用計	68,012,260
III 経常外費用	
1 雑損失	0
経常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	-610,564
法人税等	82,000
当期正味財産増減額	-692,564
前期繰越正味財産額	29,478,832
当期正味財産合計	28,786,268

2019 年度特定非営利活動に係る事業計画

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

1 協働の場づくり

市民同士の協働、行政と市民の協働、中間支援と市民・行政の協働という3つのつながりの中から、地域のあちこちに対話を生み、お互いの理解を深めながら共に地域を考える参加型の社会をつくります。

	事業内容	実施目標
市民活動促進支援事業 (対象:宝塚市民)	特定非営利活動法人の起業・運営相談支援業務 市民活動団体等のコミュニティビジネス育成等支援業務 宝塚市みんなのまちづくり協議会ポータルサイト運営業務 まちづくり協議会の活性化を図ることを目的とした広報等の企画 市民活動団体の自主財源の確保及び情報発信等支援業務	300 回 200 回 通年 通年 3 講座
ひょうごアドプト推進業務 (対象:阪神北県民局管内の市民)	アドプト団体活動支援	40 団体
きずなの家事業 (対象:宝塚市民)	コミュニティカフェ運営 市民アーティスト応援 貸しスペース業務 障がい者授産品委託販売 市民団体イベント支援 市民ボランティア参画促進	通年 通年 通年 通年 通年 通年

2 人と組織づくり

持続可能な組織運営を相談者と一緒に考える姿勢を大切に、コミュニティビジネスや NPO 活動を通じて、誰もが主役として参加できる社会をつくります。また、仕事というツールを用い、誰もが社会とつながることを応援します。

生きがいしごとサポートセンター事業 (対象:兵庫県民)	NPO法人・コミュニティビジネス (CB) の設立支援 雇用創出 起業相談 シニア起業 シニア雇用創出 CBゼミナール 実務講習講座 資金調達講座 シニア就労講座 シニア向け就職面接会 女性起業セミナー 女性起業家スキルアップ講座 女性起業家交流会 専門家派遣 【但馬地域】 CB出張相談 CBスキルアップ集中講座	24 法人設立 250 人 80 人 8 団体 40 人 2 講座 2 講座 1 講座 4 講座 1 回 8 講座 2 講座 4 回 12 回 適宜 1 回
--------------------------------	---	---

3 地域づくり

参加型の施設管理運営とまちづくりプラザ閉館時の業務委託契約を通じて新しいコミュニティをかたちづくります。

伊丹市立市民まちづくりプラザ指定管理業務 (対象:伊丹市民)	伊丹市立市民まちづくりプラザ管理 伊丹市市民活動支援	通年 通年
-----------------------------------	-------------------------------	----------

4 仕事を通じた社会参加づくり

働くことで社会に参加することを支援し、就職成立者を増やします。また、事業者はもとより多くの市民に現在の雇用状況を伝えることで、地域の理解を深めます。

	事業内容	実施目標
職場体験付若者就労支援事業 (対象:就労に課題を抱える宝塚市内の若者)	就労支援セミナー 実習前トレーニング 職場体験実習	13 講座 5 講座 約 2 週間/1 人
若年者就労サポート事業 (対象:就労に課題を抱える伊丹市内の若者)	就労支援セミナー パソコン講座 職場体験実習	12 講座 4 講座 約 3~5 日/1 人
地域若者サポートステーション事業 (対象:地域を問わず就労に課題を抱える若者)	キャリア相談 職場体験プログラム 定着・ステップアッププログラム	新規登録者 160 名 就職決定者 96 名 就職定着率 65%
就労準備支援事業及び自立相談支援事業(就労支援) (対象:宝塚市民)	求職活動支援 セミナー及び就労体験 就職後の職場定着支援	通年 通年 通年

5 市民ネットワークづくり

中間支援 NPO として、それぞれのセクターを結びつけるネットワークの推進に力を入れ、安全で安心な社会をつくれます。

情報提供、講演 (対象:一般市民、市民活動団体)		通年
東日本大震災支援 (対象:関西への避難者)	就労支援 生活相談	通年 通年
ネットワーク事業 (対象:一般市民、市民活動団体)	自治会事務局 ソリオ宝塚ふれあい夏祭り事務局 地域施設管理事務局 兵庫ひきこもり相談支援センター事業	通年 通年 通年 通年

支えてくださった皆さん

法人会員 4 団体

医療法人 回生会宝塚病院
株式会社 エンブレス
生活協同組合 コープこうべ
ソリオ宝塚都市開発株式会社

(順不同)

団体会員 38 団体

アミーゴ
いきいきシニアセミナー
エスリード宝塚自治会
オフィス・ナウ
川西もみの木
キッピーフレンズ
共生苑
きらら
きらり
玄武洞ガイドクラブ
国際交流団体未来
コスモス
コトバノミカタ
市民活動フォーラムのお
水道施設整備技術協議会
そら
ソリオ宝塚自治会
宝塚園芸福祉協会
宝塚市栄町西自治会

宝塚市社会福祉協議会
宝塚市花のみち自治会
宝塚青年会議所
宝塚投資塾自考庵
宝塚N-S-TAN
宅老所 光明の家
とことこ
ネパール・ヨードを支える会
バイカモ農国会
日高共同作業所
支援の会ひまわり
ヒューマンサポート関西
兵庫空き家相談センター
ほつと宝塚子育てネットワーク
まちづくりの会すけつと
武庫川がっこう
めふのお家
悠楽舎
れいんぼう

(順不同)

個人正会員 25 名

匿名希望 1 名
 相田 こと子
 相田 英俊
 越知 昌賜
 遠座 俊明
 橋田 てつ子
 倉橋 滋樹
 佐藤 健二
 塩谷 惣太郎
 庄野 達也
 田中 茂
 鶴丸 悌二
 中野 裕行
 中山 光子
 西井 進剛
 林 宏昭
 福島 達夫
 福岡 則博
 細谷 崇
 牧里 每治
 三木 さくら
 森田 義
 山田 忠生
 吉野 茂子
 代継 規弘

(敬称略・順不同)

賛助会員 129 名

飯室 裕文
 生駒 由香里
 石橋 さなえ
 石原 朱実
 石渡 裕子
 和泉 昌三
 井上 三恵
 井上 芳子
 岩佐 将志
 上坂 和子
 内田 梓
 馬越 康弘
 大上 清
 太田 恵子
 大谷 友比古
 大西 和昭
 大橋 良子
 岡部 加奈子
 種原 聖子
 風早 寿郎
 金井塚 美根
 金岡 重子
 金谷 信子
 川口 章子
 川久保 雄介
 河辺 千佳
 河本 美代子
 菊池 郁夫
 木佐一 豊人
 木村 佳友
 木村 麻衣
 九鬼 直子
 久世 圭子
 工藤 透
 國下 透
 車田 清美
 黒木 雅子
 小副川 久代
 後藤 桂治

小林 浩昭
 小山 直美
 鮫島 英雄
 品川 こころ
 澁谷 富子
 新堂 道子
 新福 泰雅
 直田 春夫
 須藤 栄一
 須永 容子
 高野 学
 高橋 章子
 高橋 由希
 高原 宏子
 高松 泰子
 竹内 志津香
 多胡 葉子
 立川 文代
 田中 章子
 田中 保子
 田村 博美
 團 泰雄
 辻 紫乃
 釣島 平三郎
 出澤 淳一
 東郷 寛
 塔筋 幸造
 仲 清人
 永井 麻人
 永井 弘行
 中村 豪
 西根 千鶴
 西村 和弘
 根来 城
 子延 優子
 能登 将史
 原 啓
 原口 陽子

緋本 順子
 藤井 佳代子
 藤岡 和枝
 藤田 昭
 藤津 忍
 古田 時子
 細見 克行
 前田 敦司
 正木 みつ子
 松岡 香江
 松永 星子
 丸谷 典子
 三戸 俊徳
 三原 伸也
 三原 裕二
 宮本 真由美
 宮脇 瑞穂
 村上 克己
 村上 昌輝
 村上 昭博
 森下 かつ子
 森田 隆作
 森本 樹
 森脇 やすと
 谷川原 宇子
 安原 央
 保元 温
 山口 一史
 山口 耕平
 山添 令子
 山本 敏晴
 横山 知哉
 若山 晴司
 (株) ビッグスタッフ
 (特活) 武庫が丘
 まちづくりビューロー

(敬称略・順不同)

寄付者 20 名

石堂 弥華子
 石橋 さなえ
 井村 文雄
 金井塚 美根
 加茂 伸一郎
 橋田 てつ子
 後藤 桂治
 小林 浩昭
 菅原 美代子
 谷本 啓子
 中野 裕行
 濱本 佳子
 細谷 崇
 正木 みつ子
 丸谷 典子
 三戸 俊徳
 三原 裕二
 森本 樹
 山口 一史
 (特活) 宝塚の杜芸術倶楽部

(敬称略・順不同)

2019 年 3 月末現在

2019 年 3 月末 21 年間の寄付総額は 36,026,836 円

2018 年度の寄付金額は 27 件(24 個人、3 団体・企業)で 875,465 円の寄付をいただきました

ボランティア



2018年度のボランティア時間は、2,129時間となりました。

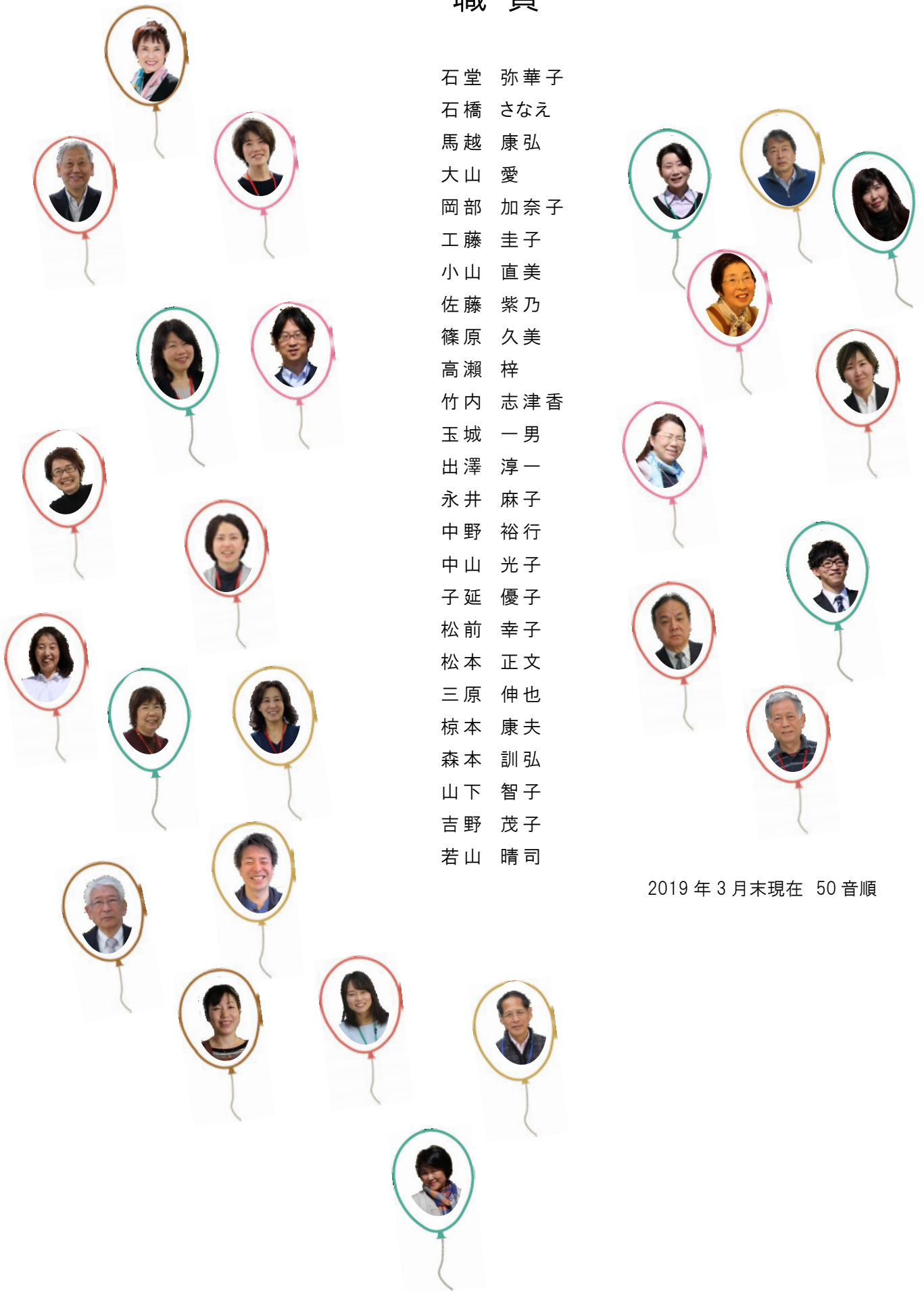
このボランティア時間は常勤職員の1年の労働時間に換算すると約2.0人分となり、無償役務を換算すると213万円の寄付に相当します。

様々な角度や立場からのご意見や一緒に作業をする際の何気ない会話は、私たちに多くの気づきを与えてくれ、また新しい風を吹き込んでくれます。

普段の細かな事務作業から、きずなの家 KaRuTa での接客・清掃、地域のお祭りなどの行事、宝塚 NPO センター主催イベントなどに、若者からシニアの方まで多くのボランティアの皆さんが関わって下さいました。私たちにとって、ボランティアの皆さんは欠かすことのできない活動のパートナーです。今後も多くのボランティアの皆さんと共に、人が行き交う市民活動の交差点として活気あふれる宝塚 NPO センターを目指したいと考えています。

職員

石堂 弥華子
 石橋 さなえ
 馬越 康弘
 大山 愛
 岡部 加奈子
 工藤 圭子
 小山 直美
 佐藤 紫乃
 篠原 久美
 高瀬 梓
 竹内 志津香
 玉城 一男
 出澤 淳一
 永井 麻子
 中野 裕行
 中山 光子
 子延 優子
 松前 幸子
 松本 正文
 三原 伸也
 椋本 康夫
 森本 訓弘
 山下 智子
 吉野 茂子
 若山 晴司



2019年3月末現在 50音順

役員

理事長	牧里 每治	関西学院大学 名誉教授
副理事長	遠座 俊明	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所
副理事長	橘田 てつ子	認定NPO法人 経営支援NPOクラブ
理事	西井 進剛	兵庫県立大学 経営学部 教授
理事	福島 達夫	社会保険労務士
理事	細谷 崇	CoderDojo 西宮・梅田代表
理事	越知 昌賜	兵庫県立大学 経営学部 特任教授
理事	中山 光子	認定NPO法人 宝塚NPOセンター 事務局長
監事	中原 さくら	中原会計事務所
監事	田中 茂	特定非営利活動法人 シミンズシーズ代表理事

2019年3月末現在



認定NPO法人 宝塚NPOセンター

宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F

TEL 0797-85-7766

FAX 0797-85-7799

MAIL zukanpo@hnpo.net

URL <http://hnpo.net>